

2021年3月期 第3四半期 決算カンファレンスコール 質疑応答概要
(2021年1月28日)

Q. コンシューマにおけるデジタル売上の10月以降の推移を教えてください。

A. 10月から12月にかけて緩やかに上昇しました。1月以降も、年間計画の達成に向け順調に推移しています。

Q. 『モンスターハンターライズ』の販売計画について、現状での見込みを伺いたい。

A. 現時点での受注状況は順調ですが、発売日まで楽観することなく推移を見守ってまいります。

Q. 今後ユーザーがゲーム専用機からPCへシフトした場合、どのような影響を受けるのか。

A. 事業を展開するにあたり、ゲーム専用機とPCとで収益性に大きな差は無いため、当社が受ける影響は大きくないと考えています。

Q. コンシューマの新作価格を引き上げることで、平均単価を戦略的に統制する考えはあるか。

A. タイトルの価格設定は新・旧作問わず、1タイトルあたりの商品寿命を伸長するため、ユーザーの価格感応度など市場の状況を勘案して行っており、特に平均単価を意識して設定しているわけではありません。

Q. ホリデーシーズンにおけるコンシューマのパフォーマンスを伺いたい。上期に巣ごもり需要で収益を先食いしていないのか。

A. 同サブセグメントでの第3四半期実績は前年同期比で上回っており、着実に推移しています。一般的に言われている巣ごもり需要について、多少の追い風を受けたとは思いますが、上期業績における主要なアップサイド要因になったとは考えていません。

Q. 2021年3月期第3四半期に実施したタイトル評価の見直しについて、具体的に教えてください。

A. 開発の進行が想定と異なるタイトルの評価を見直したもので、デジタルコンテンツ事業で実施しました。

Q. デジタルライセンス収入の上振れ要因や同収入の継続性について伺いたい。

A. 今回、デジタルライセンス収入が期初計画を上回った通り、昨今ファーストパーティからのコンテンツ需要の高まりを感じています。この傾向は暫く続くと思われませんが、長期的には、コンテンツホルダーとしてサブスクリプションと売り切りの収益バランスなど、対応を検討していく必要があると考えています。

Q. 来期以降のアミューズメント機器事業の見通しを伺いたい。

A. 今期は新機種を3機種投入でき順調に推移していますが、ホールでの機器入れ替え期限の延長など一時要因もあり、市場環境は今後も注視する必要があります。引き続きコスト改善や販売チャネルの拡大などの課題に取り組んでいきます。

- Q. 『モンスターハンターライズ』の販売について、国内外比率のイメージを伺いたい。
- A. 初速は日本市場の需要が強い印象です。欧米市場は中期的に伸長させていきます。また、今後のシリーズ戦略の立案に資するべく、『モンスターハンター：ワールド』との販売動向の差異に注目していきます。
- Q. 『モンスターハンターライズ』の収益の計上時期を伺いたい。
- A. 開発費用は従来同様、ライフでの販売計画のもと、販売実績に応じた額を2021年3月期に計上します。また、着荷、発売日タイミングなど、各国の会計基準に応じて収益計上される見込みです。
- Q. デジタルコンテンツ事業において、第3四半期単体の利益率が第2四半期単体と比べて低下した要因を伺いたい。
- A. 第3四半期はホリデーシーズンであり、200以上のタイトルから構成されるリピートタイトルにおいてセール施策を推進したことなどから、利益率が低下しました。
- Q. 『モンスターハンターライズ』の宣伝費用の計上時期を伺いたい。
- A. 2021年3月期に大部分が計上される見込みです。
- Q. 『モンスターハンターライズ』の販売見込みについて、過去の携帯型ゲーム機向けタイトルのトレンドを参考にしてもよいか。
- A. 当時とはデジタル比率をはじめ市場環境が変化していますが、概ね参考にさせていただけると思います。
- Q. 『モンスターハンターライズ』のデジタル比率のイメージを伺いたい。
- A. 具体的な数字は申しあげられませんが、近年の新作のトレンドと大きく外れることはないと考えています。
- Q. 『モンスターハンターライズ』のリピートセールや『バイオハザード ヴィレッジ』の投入が予定されている2022年3月期の第1四半期業績は前年同期を上回ると考えて良いか。
- A. 来期計画は策定中であり、現時点でお伝えできることはありません。
- Q. 不正アクセス被害によるタイトルリリースへの影響はあるのか。
- A. 開発業務は平常化しており、現時点では大きな影響はありません。
- Q. コンシューマの販売計画について、期初計画から100万本増加している一方、新作本数が減少した要因を伺いたい。
- A. 足元の販売状況を勘案・精査した結果、計画本数を修正しています。

以上